

特 別 セ ミ ナ ー

ものづくりの本質を
考えてみませんか？

初回
無料

“標準外”に学ぶ ものづくりの本質 DX・属人化解消の先にある “対応力”を育てる体験講座

DXや属人化の解消など、現場の変革が求められる今、
見えている“標準”だけでなく、見えにくい“標準化”への
対応が求められています。

この講習会では、そうした改革の基礎となる
“対応の力”を、体験を通じて深く学びます。

対象 製造業・教育・福祉など、
現場に関わる方

会場 地域・企業・学校など
現場に即した場所で開催

定員 各回 20名

参加費 初回無料 詳細はホームページへ

お申し込み・お問い合わせ

<https://allhandsm18.com>



講師 西川 守

All Hands Management 代表
製造現場の“標準外対応”に着目し、
改善を超えた知的対応力の育成を
探求。

教育・福祉・IT分野にも応用可能
な体験型プログラムを開発。



詳細/
申込みはこちら

【講習会内容概要】

ステップ	内容	目的
①気づく	標準と現場の違いに目を向ける	認識のズレを発見する
②体感する	ピンボード作業で”違い”を見える化	バラツキの構造を理解する
③工夫する	チームで”標準外”に対応する	対応力を育てる
④振り返る	現場に潜むバラツキと対応	ものづくりの本質を知る

■ 講座の主旨

標準化は“見えている部分”だけを整える技術にすぎません。

その背後には、監査では問われず、属人化し、固定化された“標準外”の業務が潜んでいます。

本講座では、こうした見えない構造をピンボード作業などを通じて可視化し、改善の体験を通じて“標準外”に向き合う力を育みます。

このプロセスは、将来のDXやAI導入において、人間的な対応力を支える土台となります。

ものづくりの本質は、見えない部分にこそ宿る——その気づきから始まる講座です。

■ こんな方におすすめ

- DXによる現場変革に取り組む方
- AI導入の判断基準に悩む方
- 属人化の解消を目指す改善担当者
- “標準外”の対応に苦慮している現場リーダー
- 教育・福祉などで改善力を育てたい方
- 改善活動に限界を感じている方
- チームの対応力を高めたい方

■ 開催について

この講習会は、受講される方々の現場や課題に応じて、内容や構成を柔軟にアレンジできます。開催にあたっては、事前に十分な打ち合わせを行い、ご要望を丁寧に伺ったうえで、場所・日時・進行内容などを一緒に組み立てていきます。

まずは気軽にご相談ください。形式にとらわれず、本質に向き合う場づくりをお手伝いします。